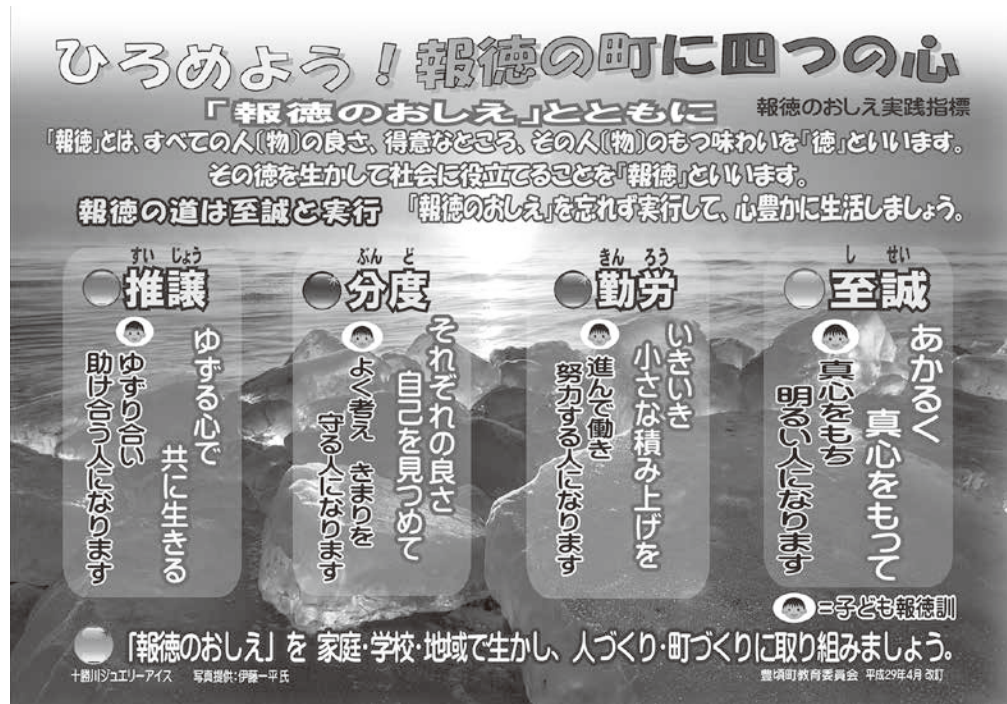




『報徳のおしえ』とともに



い
き
い
き
小
さ
な
積
み
上
げ
を
努
力
す
る
人
に
な
り
ま
す

あ
か
る
く
真
心
を
も
っ
て
明
る
い
人
に
な
り
ま
す



二宮尊親

【報徳訓】

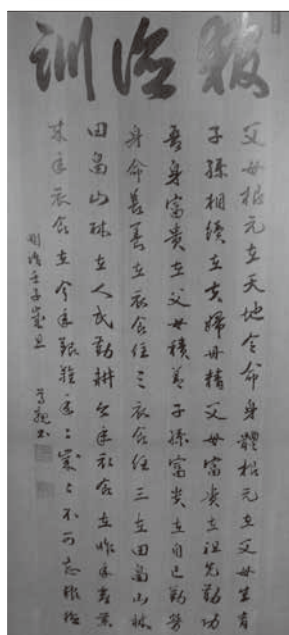
人は自分ひとりで生きているのではなく、天地・自然があり、親があり先祖があり、他の人があり、その行動により自分の境遇が決まり、自分の行動がまた子孫や他人の境遇を決めることになります。

感謝と勤労と積善の奨めを二宮尊徳は、「報徳訓」として分かりやすく説いています。

「報徳訓」を、やさしくすると
かな『報徳訓』より

てんちのいのちでいきている おやのいのちでいきている いのちをしっかりとつたえよう	せんぞのいのちでいきている しそんにいのちをつたえよう
ぶんかのめぐみでくらしてる おやのめぐみでくらしてる	せんぞのめぐみでくらしてる しそんにめぐみをつたえよう
ごはんのおかげでいきている すまいのおかげでいきている やまのおかげでいきている こうばのおかげでいきている みんなのおかげでくらしている	きもののおかげでいきている たはたのおかげでいきている うみのおかげでいきている みせのおかげでいきている もちばもちばでつとめよう
きょうのごはんできょういき きょねんのみのりでこといいき	きょうのつとめはあすのため いつでもしっかりとくいかし

元小田原市報徳博物館初代館長 佐々井典比古 作



える夢館歴史の森
【報徳訓】



二宮尊徳

平成 31 年度の始まりです。『報徳のおしえ』を人づくり町づくりの基盤にする豊頃町です。今年度も少しずつ『報徳のおしえ』を学び実践していきましょう。人は生涯学び続けます。そして、人であるがゆえに将来を見据えた生き方を大切にしていきたいと思います。

問合せ先

教育課社会教育係

☎ (579) 5801

平成 3 0 年度 全国体力・運動能力等調査

豊頃町の児童生徒の体力や運動習慣は？

豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所

町内の小学 5 年生、中学 2 年生を対象に実施した平成 30 年度全国体力・運動能力等調査の分析結果が北海道教育委員会より公表されました。各学校においては、この分析結果を生かした体育科授業の工夫改善、体力づくり活動の計画的実施など、既に取り組を進めているところです。

これに関わり、本町の体育・スポーツ振興の観点から、家庭、学校、地域が連携・協力し、心身ともに健康な子どもたちの育成の参考に努めていただきたいと思います。

○調査実施期間 平成 30 年 4 月～ 7 月

○調査の対象学年及び実技内容

・小学校第 5 学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20m シャトルラン・50m 走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
・中学校第 2 学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・シャトルランか持久走・50m 走・立ち幅とび・ハンドボール投げ

○運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

● 豊頃の子どもたちの体力等の傾向

小学生
体力合計点は、男子・女子とも全国・全道平均を上回りました。

《実 技》

／男子は全 8 種目中、上体起こし・シャトルラン以外の 6 種目が、女子は上体起こし・シャトルラン・50m 走以外の 5 種目が全国平均を上回りました。
／豊頃町の小学生の運動能力は高く、柔軟性も改善傾向にあります。

《質問紙》

／「できなかったことができるようになったきっかけとして、授業中に自分の動きを動画で見た」と回答した男子児童の割合が全国を上回りました。
／「体育授業で動きを撮影して活用する活動を行っている」と回答した女子児童の割合が全国を上回りました。
／男女共「夕食」を毎日食べる習慣は身につけていますが「朝食」を食べない日があります。「平日のテレビ・ゲーム等の画面を見る時間」で 5 時間を超える児童がいます。

中学生
体力合計点は、男子は全国・全道をやや下回り、女子は全国・全道を上回りました。

《実 技》

／全 8 種目中、男子は上体起こしが全国平均を上回りました。女子は 50m 走以外の 7 種目が全国平均を上回りました。
／全国を下回った種目では、男子は長座体前屈・50m 走の数値の差が大きく、50m 走は男女とも全国平均を下回りました。

《質問紙》

／男女共に「運動が好き」「やや好き」・「運動は大切である」「やや大切である」と答えた生徒の割合はとても高いです。
／体力に「自信がある」「やや自信がある」の割合は男子が 75%、女子は 40% で、男子の方が自己の体力に自信をもっている生徒が多いです。
／朝食を「毎日食べる」生徒の割合は 73% で「食べない日もある」を含めると 100% となり、朝食を食べる習慣が身につけています。

● 調査結果から考えられること

【全体の傾向と課題】

○授業中に自分の動きを動画で見たり、体育授業で動きを撮影して活用する活動を行ったりするなど、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善が図られていることにより、「運動が好き」と答えた児童生徒の割合が高くなっていると思われます。

○小中学生ともに「運動が好き」であり、「運動は大切」の意識は高くなっています。

●運動時間が少ない児童生徒も運動習慣が身につくよう、学校・家庭・地域が連携した取組を進めることが重要です。

●児童生徒の健康的な生活行動の実践に向けては、学校と家庭が共通理解を図りながら取組を進めていく必要があります。

【今後の取組の方向性】

○学校では、今後も総合的な体力等向上に資する授業の工夫改善や部活動等諸活動の充実に努めるとともに、家庭や地域と連携した取組を継続していくことが必要です。

○家庭では、基本的な生活習慣の基盤を成す 1 日 3 食の「食習慣」を大切にするとともに、時間の使い方など家庭での約束事をしっかりと決めて、日々の生活の中に運動を取り入れていきましょう。

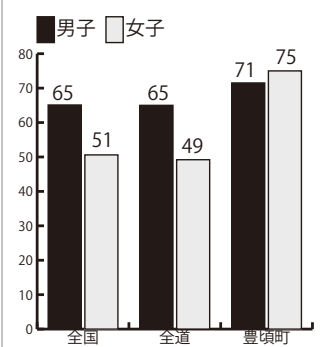
○地域では、PTA、子ども会、スポーツ少年団活動や町内会行事などにおいて、引き続き子どもも大人も楽しめるゲームや軽運動を取り入れるなど、スポーツに親しむ環境づくりにご協力をお願いいたします。

問合せ先

教育課学校教育係

☎ (579) 5801

運動やスポーツをすることが好き (小 5)



運動は大切 (中 2)

